

会 議 録 (要点筆記)

会 議 名	第 1 回 米原市庁舎等整備検討委員会
開 催 日 時	平成26年 3 月 6 日 (木) 19時00分～21時00分
開 催 場 所	米原市米原公民館 2 階 研修室 2 A B
出席者および欠席者	出席委員：13人 岩崎恭典委員 (委員長)、高柳英明委員 (副委員長)、三原作義委員、 下村良弘委員、大下精二委員、日向寛委員、吉田正子委員、 北村きの委員、福永ひろみ委員、堀川弥二郎委員、川口幸雄委員、 佐々木健司委員、大野淳天委員 欠席者：2人 松居雅文委員、山田滋委員 事務局： 平尾道雄市長、中谷利治総務部長 管財課：高畑徹課長、清水正樹課長補佐、藤田宏一、川瀬雅史
議 題	1 庁舎等整備基本構想について 2 各庁舎等の現状と課題について
結 論	次回、各庁舎等の現状と課題について、提言書に記載している課題や 分庁舎方式のメリット・デメリット等を整理し、議論を進める。
審 議 経 過	1 開会 (事務局より開会あいさつ。) 2 市長あいさつ 皆さん、こんばんは。市長の平尾です。 本日は、「第 1 回米原市庁舎等整備検討委員会」を開催させていただきましたところ、皆様には、夜分にもかかわりませず、御出席いただき、誠にありがとうございます。 皆様には、日頃から、米原市政の各般にわたり、格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げますとともに、委員の就任につきましては、快くお引き受けいただきましたことに、心から感謝申し上げます。 さて、本市では、平成17年の 4 町合併以来、10年目を迎えようとしているのが今日の状況ですが、この間、御案内のとおり 4 分庁舎方式による行政運営を行ってきたところですが、これにつきましてもそれぞれ御意見、評価があろうかと思いますが、現実的に各庁舎は老朽化していますし、耐震化の問題につきましても決して、胸を張れるような状況ではご
市長	

ざいませぬ。さらには職員が4庁舎を頻繁に行き来していること、それから、市民の皆さんにおかれましては、分野ごとに庁舎を選択せざるを得ないということで、なかなか横連携も十分でなく、行政の効率化という点ではいろいろ議論があつてしかるべきところであり、このことがそのままいいのかということ。もちろん4分庁舎ということで地域になじみを持ちながら行政を進めてきている、そのような点も確かにございます。

そのことも含めてでございますけれども、私どもとしてはなんとしても分庁舎方式をしっかりと皆さんに議論していただいて、どのような方向が正しいのかということも含めた議論を賜りたいと思ひます。

いずれにしましても平成23年の段階で、庁舎の在り方検討委員会というものの議論を既にしていただいております。この段階では早急に抜本的な対策が必要であるとの提言をいただいたところであります。

今後の市民サービスの在り方や合併をして10年目を迎えようとしています点では、財政的な措置の問題もいろいろと変化を生じる時期がきました。庁舎の規模でありますとか、機能でありますとか、位置の問題とか、そういう点でもう一度議論をし尽くして、フラットなところから皆さん方の多面的な御意見をいただいて庁舎の在り方について結論を出していきたいとこのように今回考へている次第でございます。

こうした点から、昨年の12月に「米原市庁舎等整備検討委員会条例」を制定させていただきました。条例制定ということでの委員会設置でございます。まさに米原市の持続可能な発展と将来展望をしっかりと作っていくために、米原市庁舎の問題の整備について、基本的な方向性を皆さん方からぜひ出していただきたい。そしておまとめをいただきたいと考へている次第でございます。

そういう意味で、本日、「米原市庁舎等整備基本構想の策定について」ということで諮問をさせていただきたいと考へております、そしてこの諮問につきまして最終的に皆さん方の御議論、御審議を通して結果に基づいて、答申をいただく、そのような手順でこの会議を進めていただきたいと考へている次第でございます。

なお、このあと、検討委員会の役割について、事務局から詳しく御説明させていただきますが、私自身はこの庁舎の問題は大きく市民の関心もあると同時に市民の皆さんのまさに地域における様々な振興発展に大きく関わってくる課題でもあります。今後の審議に当たっては、開かれた場所での公平・公正な議論が尽くされて、そして結論が得られる。最終的には市民合意が得られる。そういう結論にぜひ進んでいきたい

	<p>とっておりますので、是非とも皆さん方の御協力と御理解を賜りたいと考えているところでございます。</p> <p>先ほど申しました10年目の節目を迎えて、私自身の考えでなしに職員の中からも何とか市庁舎の問題を議論して合併10年をもってですね、新市米原市から新しい米原市のスタート地点を作れる。そういう庁舎問題の議論に入ってほしいというようなこんな願いを職員ともども持っておりますことを御披露させていただきまして、皆さん方の格段の御支援と市民感覚での忌憚のない御意見を賜りますとともに、活発な御審議をいただきますようお願い申し上げます、簡単ではございますが、開会の挨拶とさせていただきます。どうぞ、よろしく願いいたします。</p> <p>3 委嘱状交付 (市長から交付)</p> <p>4 委員および事務局の自己紹介 (本日出席の検討委員会委員および事務局の自己紹介 事務局より、委員の半分以上の出席により、委員会が成立する旨を説明) (事務局より、委員会は公開が原則であることを説明(各委員からの異議なし)。よって、今後は公開で開催する旨を説明)</p> <p>5 委員会の役割等について (平成24年に「米原市庁舎等の在り方に関する提言書」をまとめた旨を説明。今回の検討委員会は、条例に基づいて置かれたものであり、基本構想を策定していくための委員会であることを説明)</p> <p>6 委員長および副委員長の選出</p>
総務部長	
事務局	どのように選出するか、提案はありませんか。
委員	議論のスムーズな進行が求められると思いますので、学識経験者のお二人をお願いしてはどうでしょうか。(各委員から異議なし。)
事務局	それでは、委員長を岩崎委員、副委員長を高柳委員にお願いするという事で、いかがでしょうか。
各委員	(拍手)

事務局	<p>それでは、委員長を岩崎委員に、副委員長を高柳委員にお願いしたいと思えます。ひとこと、お願いできますでしょうか。</p>
委員長	<p>よろしく申し上げます。委員長として、進行とともに意見の整理を行えるよう努めたいと思えます。メンバーも多いので、1つのテーマで言いたいことを短く、回数を多く言うてもらおうことをお願いできればと思っています。また、できるだけ2時間以内で終われるよう進めたいと思えますので、御協力お願いします。</p>
副委員長	<p>よろしく申し上げます。最初は皆さん、固くてなかなか意見が出にくいかもかもしれませんが、副委員長として進行をサポートしたいと思えます。</p>
	<p>7 諮問 市長より委員長に、諮問書および理由書を手渡し (市長退席)</p>

委員長	<p>8 議題 (1) 庁舎等整備基本構想について それでは、事務局から資料の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(資料No.1～2について説明)</p>
委員長	<p>ありがとうございました。 人口減や財政面など、抜本的な対策が必要ということをも市も認識されている、ということです。政府は本格的に移民受入れを考えているようですから、米原市も50年後は外国人が多くなっているかもしれない、ということです。 何か御意見ありますか。</p>
委員	<p>平成30年には財源不足額が3.7億円になるとのことですが、庁舎を建てるのに問題はないのですか。</p>
事務局	<p>合併特例債が平成32年まで5年延長されたので、財源としては期待できます。また、市としての積立金があるため、それを有効活用すれば可</p>

	<p>能と考えています。</p>
委員長	<p>合併特例債は将来の市民に対して負担を求めるものですが、手段としてはあり得ると思います。建設費の95%までは借金でき、そのうちの70%は地方交付税として国からの補助対象となります。</p>
委員	<p>合併特例債は借金を子孫に肩代わりさせるものですが、庁舎は将来の市民にも利用されつづけるので、手段としてはよく使われると思います。ほかに、市として「核＝シビックコア」を作り、地価の上昇等を見込むやり方などもあります。新潟県東魚沼町では、普段、人は住まないけれどもリゾートマンションを販売し、固定資産税による税収アップをしている事例もあるようです。</p>
委員	<p>平成29年度から財源不足になるということですから、そこをどうするかを議論するのが先だと思うのですが。</p>
事務局	<p>この資料は最悪の状態を想定して、こんなことにはならないようにという視点で作成していますので、そのような意味で見ていただきたいと思います。実際、基金の利用もあり得ると考えています。</p>
委員長	<p>よろしいでしょうか。それでは次の資料説明、お願いします。</p>
事務局	<p>(資料No. 3～4 について説明)</p>
委員	<p>現状の分庁舎方式は移動にコストが掛かることになっていますが、ひとつにまとまれば業務効率が上がるので、職員数を減らせるのではないですか。</p>
事務局	<p>職員数は、合併当時からは減り、今では、一般的に適正と言われる市民の1%程度の人数となっています。また、今後県などからの権限移譲もあり、410人程度は確保したいと考えています。</p>
委員	<p>米原市は土地も広いので、管轄する市の規模として一人当たりの土地面積という考え方もあるのでは、と思います。</p>
委員	<p>庁舎の面積については基準があり、それに基づいて算出するのが一般</p>

	<p>的なようです。分庁舎と職員数のパターンでシミュレーションをしてみるとということも今後考えられます。</p>
委員長	<p>今日は、現状の課題について、共通認識を持つことが目的です。他に御意見はありますか。</p>
委員	<p>資料2のなかの点線枠の基本計画欄に記載がありますが、現庁舎跡地利用もこの委員会で検討していくのですか。</p>
事務局	<p>4庁舎の利活用については、今年の議論の結果を受けて、方向性くらいは示せないかと考えています。</p> <p>市民サービスがどうあるか、というところから議論、御意見をいただければと思います。</p>
委員長	<p>各地区の区長さんの意見も聞きたいと思いますが、必要な市民サービス機能についてなど。</p>
委員	<p>職員の方の移動は大変だと思います。庁舎はまとまっているのがありがたいので、できるだけひとつに集約する方がいいと思います。</p>
委員	<p>北の方からは、米原市庁舎まで約1時間かかります。2庁舎くらいで何とかならないかと思います。伊吹地区には近くに市民サービスは必要だと考えます。</p>
委員	<p>近江地区では、市民自治センターの方が色々手配してもらい、去年は連絡をもらって行かなくてもよい対応をしていただいき、非常に助かりました。</p>
委員	<p>平成23年度にアンケートまで実施したと思います。ここまでの議論は、平成23年と同じ内容を繰り返しているようで、今年も同じことをするのですか。</p>
委員長	<p>前は私的な諮問機関でしたが、今回は条例による諮問機関で、その答申は今回の方が重いことから、1から議論をし、結果的に同じ結論になることでもよいと思います。ただ、前回もかなりの議論を行ったので、まず次回までに「米原市庁舎等の在り方に関する提言書」を読んでいた</p>

	<p>だいて、現状の課題等を理解していただきたいと思います。</p> <p>今日は、前提条件の簡単な確認を行っているという認識です。次回の検討委員会では、庁舎の課題と整理を改めてして、庁舎体制の在り方を検討していこうと思います。庁舎の具体的な整備の在り方や基本理念というところまで議論を進めていきたいと思います。</p>
委員	<p>県庁誘致など、シンボル拠点となるような大きな夢はないのでしょうか。市の宿題として、西を向くか東を向くのか、方向性を示すべきだと思います。</p>
委員	<p>分庁方式のいいところもあると思います。それをもう一度踏まえて議論してはどうかと思います。</p>
委員	<p>今日は女性の意見をまとめて来ています。障がい者や高齢者の雇用につながらないか、展望レストラン・子供預り所・道の駅を併設してはどうかなど。このように楽しめる空間をつくることで、明るく、活性化してくのではないかと思います。</p>
委員	<p>これからの人、若い人の意見をこの場に取り入れたほうがいいのではないかと思います。また、アンケートではなく、意見として聞く方がよいと思います。</p>
委員	<p>来てくださいではなく、周りを巻きこんでいく庁舎、という考え方もあると思います。</p>
委員長	<p>色々な御意見が出ましたが、よろしいでしょうか。</p> <p>まずは、次回までに「米原市庁舎等の在り方に関する提言書」を読んでいただき、提言に記載している課題やメリット・デメリットについて、各自の意見の整理をお願いしたいと思います。</p>
委員	<p>「米原市庁舎等の在り方に関する提言書」のやり直しをするということですか。</p>
委員長	<p>単に提言にしばられる必要はありませんが、そこから議論を進めたいと考えています。位置についてももう少し丁寧に議論して、それで同じ結果になるということでもいいかなと思います。</p>

事務局	<p>よろしいでしょうか。それでは予定について事務局より説明をお願いします。</p> <p>9 その他</p> <p>次回は、4月24日19時からでお願いしたいと思います。会場は4庁舎を順次まわってきたいと考えています。</p> <p>(特に異議なし、日時決定)</p> <p>10 閉会</p>
-----	--